

しんろ 進路コーナー (Vol.5)

文責：平木



今回は、進路決定の手順やスケジュールについての紹介をします。

下記の表は、高等部3年生の進路に関する行事や各就労希望ごとの主な動きについて示したものです。これまでに培った進路学習や現場実習等の学びを通して、進路を自己選択・自己決定する最終学年となります。本人が希望する進路先を目指した支援を大切にしていきます。



<高等部3年生> ~進路を決定し、卒業後の社会生活を意識する段階~

が月	進路に関する行事	一般就労	福祉就労	進学等
4 5 6	■前期現場実習 3週間 (進路を見据えた実習)	*実習後に評価をしてもらい、雇用の可能性について確認する。	*卒業後の実際の利用に近い体制や支援方法で実習を行う。	■オープンキャンパス参加
7	■第1回個別の進路相談会 (会場：学校)	・保護者、本人の希望を踏まえて進路の方向性の確認をする。 ・関係機関に参加してもらうことで、本人に関する情報を共有し、支援内容を整理する。		
8 9	■臨時現場実習 1週間 (必要に応じて実施)	*雇用が前提の実習を行う。 ■職業評価の実施 ※対象者のみ (障害者職業センター) ■求職者登録を行う (ハローワークへ提出)	■就労アセスメント実施(就労継続支援B型希望者のみ)	■オープンキャンパス参加
10 11	■後期現場実習 3週間		*実際の利用を想定した実習を行う。	■受験対策学習 ■入学試験 (筆記、面接試験等) ↓ 合格通知書をもろう
12	■第2回個別の進路相談会 (会場：学校)		■障がい支援区分調査 (各市町村役場) ⇒審査、判定	ひっきめんせつしけんなど ↓ ごうかくつうちしょ 合格通知書をもろう ■必要書類の提出
1 2 3	■臨時現場実習 1週間 (必要に応じて実施) ■移行支援連絡会議 (会場は、原則として就労先等で実施)	■履歴書、調査書の作成 ■ハローワークから紹介状をもろう ■履歴書、調査書の提出 ■事業所の入社試験 ↓ 内定通知書をもろう ■必要書類の提出	■相談支援事業所と利用契約、サービス等利用計画(案)の作成(相談支援事業所) ■受給者証の発行(各市町村役場) ■事業所との契約(事業所)	
		・雇用やサービス利用の条件、生活面での支援、日中以外のサービスの利用等の希望の有無などを就労形態に応じて必要な事項について確認する。		
		・就労やサービス利用の条件、生活面での支援などを就労形態に応じて最終確認する。(各種手続を会議後実施する場合もある。)		

*上記の表の流れや手順は、個々の生徒の進路状況等に応じて異なる場合があったり、その他必要な支援があれば関係機関との新たな手続き等がある場合があったりします。

○今回の内容についてくわしく知りたい方は、担任までお知らせください。

